Antonio Rodriguez Rodriguez. 2º GIADE Jose Antonio Carmora Molina.

1.- Usando la notación O, determinar la eficiencia de las siguientes funciones:

```
(a)
         void eficiencia1(int n)
          int x=0; int i,j,k; \supset O(4)
                                                          for(i=1; i<=n; i+=4) \( \( \gamma \) (\( \cappa \)
                                                                                   for(j=1; j<=n; j+=[n/4]) ] O( \( \)

for(k=1; k<=n; k*=2) ] O( \( \)
}
 (b)
           int eficiencia2 (bool existe)
                                  int sum2=0; int k,j,n; \bigcirc \bigcirc (4)
                                  if (existe)
                                                                 for (k=1; k \le n; k \le 2) \exists O(\log_2(n))
for (j=1; j \le k; j++) \exists O(n)
sum 2++; \exists O(1)
                                  else
                                                                      for(k=1; k<=n; k*=2) \( \) \( \left( \text{S}_2(\cappa) \) \\
for(j=1; j<=n; j++) \( \) \( \cappa \) \( \cappa \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) \( \) 
                        return sum2; \ O(1)
   (c)
          void eficiencia3 (int n)
                                                                                                                                                                                                                   void eficiencia4 (int n)
              int j; int i=1; int x=0; (3)
                                                                                                                                                                                                                               int j; int i=2; int x=0; \ 0(4)
                                                                                                                                                                                                                                                        j=1;] O(1)
                                  while (j <= n){ ] O(log ;
j=j*2;]O(4)
x++;]O(4)
                                                                                                                                                                                                                                                       while (j \leftarrow i) (j \rightarrow 0) (\log_2 n) (n \log(n))

j=j*2;jo(4)
                                    i++; ] 0(4)
                                                                                                                                                                                                                                              i++;]0(4)
}while (i<=n);] 0(n)
                         }while (i<=n); \bigcap (\cap)
    }
```

2.- Considerar el siguiente segmento de código con el que se pretende buscar un entero \mathbf{x} en una lista de enteros \mathbf{L} de tamaño \mathbf{n} (el bucle **for** se ejecuta **\mathbf{n} veces**):

Crearia una función "ultimo" en la clase Lista que devolviera de tamaño o número de elementos con eficiencia O(1), sostituyendo p!= fin (1) por p!= ultimo (1).

Analizar la eficiencia de la función eliminar si:

- (a) primero es O(1) y fin, elemento y borrar son O(n). ¿Cómo mejorarías esa eficiencia con un ligero cambio en el código?
- (b) primero, elemento y borrar son O(1) y fin es O(n). ¿Cómo mejorarías esa eficiencia con un ligero cambio en el código?
- (c) todas las funciones son O(1). ¿Puede en ese caso mejorarse la eficiencia con un ligero cambio en el código?

Consideraciones:

- 1.- El reto es individual
- 2.- la solución deberá entregarse obligatoriamente en un fichero pdf (se sugiere como nombre reto1.pdf)
- 3.- Si la solución es correcta, se puntuará con 0.2 para la evaluación contínua
- 4.- El plazo límite de entrega es el 3 de Octubre a las 23.55h

Volverià a tracer la mismo que en el apartado a, con la función "ultimo" que tre inventado. Quedando una exercia O(n)

c) En este caso no puede mejorarse la eficiencia, quedando esta como O(n). Solo podríamos cambior la busqueda Cineal por busqueda binaria, quedando la eficiencia como logan, pero seria un cambio alep más complejo.